

第9回

コロナ関連政策には どれぐらいの効果があつたのか？

北村 周平 氏

大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授 (常勤)

申込不要

2022年12月23日(金) 19:00 ~ 20:00

YouTube Live 無料配信

正しく学ぶ！感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座とは

当講座は、新型コロナウイルスを始めとする感染症の脅威から人々の「いのち」と「暮らし」を守るために、科学的根拠に基づいた感染症対策やリスク、ワクチンの開発状況に加えて、感染禍が人々の行動に与えた影響の分析などの幅広い話題について、大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象にわかりやすく解説する全12回のオンラインプログラムです。

講座概要

コロナ禍では、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、Go To キャンペーン、マスクの配布など、さまざまな政策が行われました。行動の自粛や営業時間の短縮など、私たちもその影響を少なからず受けましたが、そもそもそれらには、どれぐらいの効果があつたのでしょうか。その効果の大きさを踏まえた上で、例えば、大阪市が飲食店の営業時間短縮に対して支払った協力金は、適正な金額だったと言えるでしょうか。

この講義では、データから因果関係を統計的に推定していく「因果推論」の手法を使って、コロナ関連政策(特に、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置)の影響を分析した内容をお話します。

講師



北村 周平 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授 (常勤)

1984年生まれ。経済学者。ストックホルム大学国際経済研究所Ph.D.(経済学)。米ロチェスター大学ワリス政治経済研究所ポスドク、大阪大学大学院国際公共政策研究科専任講師・准教授を経て、2021年から現職。専門は、政治経済学、経済発展論。大学では計量経済学(因果推論)の授業を担当し、行政データ、実験データなどさまざまなデータを使った実証研究を行っている。近著に『民主主義の経済学』(日経BP社)。



過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>

12月23日オンライン (YouTube Live) 参加はこちら

<https://kc-ijp/activity/chogakko/cider2022/detail20221223.php>主 催
助 成CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル
日本財団

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点 事務室(総務担当)

☎ 06-6879-4903

✉ kansensyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp

🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>